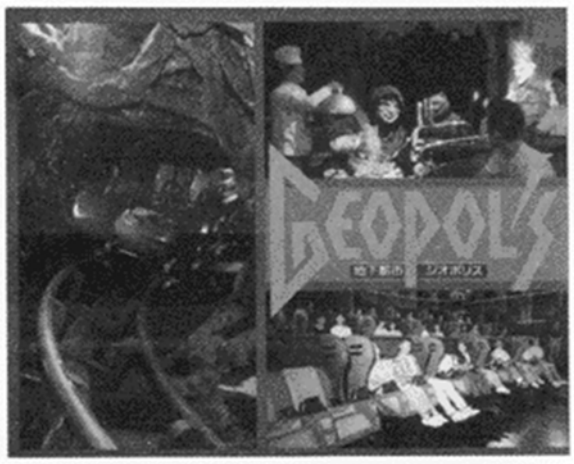
地下遊園地「ジオポリス」

施設管理者　　：㈱東京ドーム
施設所在地　　：東京都文京区
調査見学時期　：平成４年 11 月 27 日
施設概要

ジオポリスは「地下の都市国家」を意味し、去年（９２年）７月にオープンしたビックエッグプラザ２の地下にある日本で初めての本格的地下遊園地である。
延べ床面積は６２１０㎡で１階、地下１階からなっている。なお、地下２階が駐車場として利用されている。

このように、あえて遊園地を地下式としたのは、建設地が都市公園法などの規制に縛られており地下の有効利用を余儀なくされたからとのことであるが、雨天対応スペースの拡大、冬季のアミューズメント空間の提供というコンセプトにも基づいている。これによって遊園地の泣きどころである雨天時の集客と平日および夜間の入場者数の増加もねらっている。

一昨年（９１年）から夏期に「東京ドーム・ルナパーク」という名称で夜間営業していることに加え、このジオポリスのオープンによって９２年度の入場者数は２割程度増えるものと予想している。また、入園者の平均滞留時間も２時間半から４時間に伸びるものと見込んでいる。ただし、このジオパニックの建設コストは３７億円にも及んでおり、地上施設の場合の約１．５倍とのことである。

実際にジオポリス内に入ってみたが、意識しなければ地下にいるという感覚はなかった。あえてこのような施設を地下につくる必要があるのかとも感じたが、地下を意識した暗闇の岩むき出しの洞窟の中を高速で疾走するジオパニックはスケールの割に恐怖感があり十分楽しめた。（ＧＥＣニュース第４１号より抜粋）